

2025年10月21日
三井住友海上あいおい生命保険株式会社

「UCDA アワード2025」の受賞について

MS&AD インシュアランスグループの三井住友海上あいおい生命保険株式会社(社長:加治 資朗)は、一般社団法人ユニバーサルデザインコミュニケーションデザイン協会(理事長:斎藤 修)が主催する「UCDA アワード2025」において、「UDCA アワード2025(印刷物カテゴリ)」の受賞が決定しました。

※一般社団法人ユニバーサルコミュニケーションデザイン協会(UCDA)

2007 年に設立された、情報コミュニケーションが生活者にとって「見やすく、わかりやすく、伝わりやすい」デザイン(UCD:ユニバーサルコミュニケーションデザイン)になっているかを評価・認証する第三者機関

※UCDA アワード

UCDA アワードは、一般社団法人ユニバーサルコミュニケーションデザイン協会が主催し、企業・団体・行政が生活者に発信するさまざまな情報媒体を産業・学術・生活者の集合知により開発した基準を使用して「第三者」が客観的に評価し、優れたコミュニケーションデザインを表彰するものです。

「UCDA アワード2025」は、パンフレットや帳票、Web、映像など各ツールの見やすさ・わかりやすさ(デザインの情報品質)を評価するカテゴリにおいて、「UCD ファイナリスト」から専門家と生活者の評価が共に高いものに贈られる賞となります。

当社は、「お客さま本位の業務運営に関する方針」において「お客さまの視点に立った保険募集」を掲げ、商品内容および投資性商品に関するリスク等を含む商品特性やその商品を提案する理由について、十分ご理解いただけるよう、わかりやすく丁寧に説明するために、お客さまから寄せられるご意見やご要望等も踏まえた書面・ツール等の改善・工夫などを継続的に行っています。

当社は、引き続き、「お客さまの声」に真摯に向き合い、お客さまにとって見やすく、わかりやすい情報提供等の一層の充実に向けて、取り組んでまいります。

<当社の受賞内容>

○受賞名:「UCDA アワード2025」(生活者と専門家による評価が総合的に高いもの)

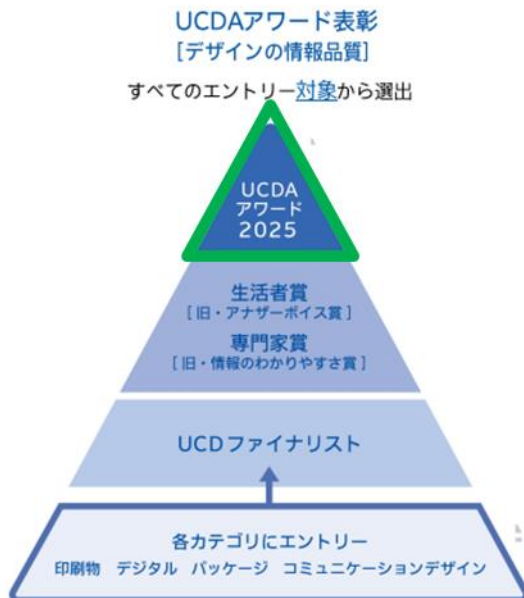
○カテゴリ:印刷物

○受賞対象物:「必要保障額かくにんガイド」



○受賞理由:

- ・貯蓄、年金、保険をはじめリスクマネジメントの基本と仕組みを明快かつ端的に表現したツールである
- ・各 STEP の内容が簡潔で構成に無駄がなく、生活者が短時間で理解できる
- ・視認性に優れたフォントやレイアウトは負荷が少なく、優良な顧客体験を提供している
- ・特に「情報量」「レイアウト」「色彩設計」の評価が高い



以上